

2016年1月7日

デルタ航空、早稲田大学の米国留学プログラムを支援

米国留学奨学生の渡米用航空券を無償提供

【東京、2016年1月7日】- デルタ航空(NYSE: DAL)は、早稲田大学(所在地: 東京都新宿区、代表者: 総長 鎌田薫)が学生向けに提供する米国留学プログラムのひとつ、「グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム」の趣旨に賛同し、2015年度から2年間、選抜された学生に米国渡航用の航空券を提供することに合意しました。デルタ航空が日本の大学の留学プログラムを支援するのは、今回が初めてです。

留学者数日本一を誇る早稲田大学が提供する「グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム」は、多様な価値観を尊重できる真のグローバル・リーダーの育成を目指して、米国の名門大学と共同運営する留学プログラムです。留学先には、ボルチモアのジョンズ・ホプキンス大学、ニューヨークのコロンビア大学、サンフランシスコのカリフォルニア大学バークレー校、シアトルのワシントン大学、ニューハンプシャーのダートマス大学、ワシントン D.C.のジョージタウン大学など、米国を代表する著名な大学が名を連ねています。

デルタ航空日本支社長、森本大(もりもと・まさる)は次のように述べています。「早稲田大学の『世界を舞台に活躍するリーダーを育てる』という留学プログラムの趣旨に賛同し、提携を決めました。日本で最大の運航規模を持つ米国の航空会社として、将来有望な学生の皆様が渡米し、多くの経験を持ち帰れるよう協力したいと思います。」

デルタ航空では、教育支援をコミュニティ活動の柱の一つとして位置づけ、数々の教育機関や学校を支援しています。日本では、フルブライト奨学金や TOMODACHI イニシアチブへのスポンサーとして、日本人の学生や社会人の米国留学をサポートしています。



早稲田大学の鎌田薫総長とデルタ航空日本支社長・森本(提携合意を受けて)



2015年12月21日に実施された締結式

デルタ航空について

デルタ航空は年間約1億8,000万人近くの搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。フォーチュン誌の「2015年世界で最も賞賛される企業リスト」の航空業界部門(2015 World's Most Admired Companies Airline Industry List)において、5年間で4度目の1位を獲得し、「世界で最も賞賛される企業」トップ50社にも選ばれたほか、米ビジネストラベルニュース誌調査で初の5年連続トップに選ばれました。デルタ航空およびデルタ・コネクションは、世界57カ国、328都市に向けてフライトを運航しています。米国ジョージア州アトランタに本社を置き、世界で8万人近い従業員を擁し、800機以上の主要機材を運航しています。航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーであり、大西洋路線においてはエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空、およびヴァージン アトランティック航空と共同事業を展開しています。アトランタ、ボストン、デトロイト、ロサンゼルス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(ラ・ガーディアアおよびJFK)、ソルトレイクシティ、シアトル、アムステルダム、パリ(シャルルドゴール)、東京(成田)をハブ空港および主要マーケットと位置づけ、提携航空会社と合わせて一日に1万5,000便以上のフライトを運航しています。機内および空港での顧客エクスペリエンスの向上を目指し、空港施設や機内プロダクトの改善、サービス向上とテクノロジー導入に数十億ドルを投資しています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部 岡田 / 松元

e-mail: APACCommunications@delta.com

日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>